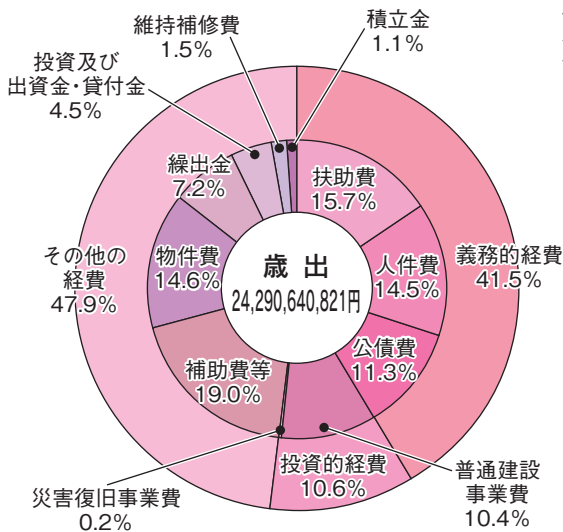
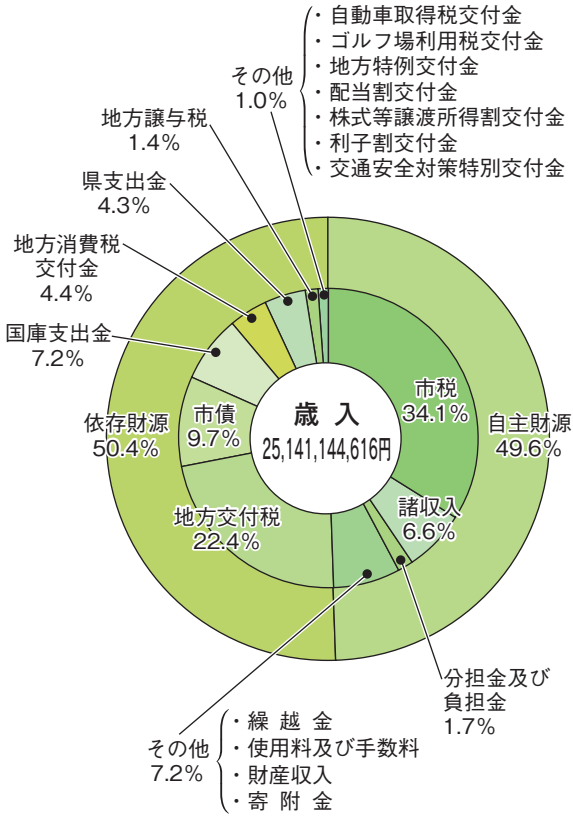


ちの市議会だより

令和元年9月定例会（決算議会）

決算審査では、前年度の予算の使い方が適正かつ効果的であったか、いかに事業の成果が上がったかなどを、議会で審査し、改善点を指摘し要望をします。それを市が「今後の予算に活かす」ことにより、決算審査の結果は、今後の予算につながっていきます。

平成30年度一般会計歳入及び性質別歳出決算の状況



第31号

2019年11月20日

発行／茅野市議会
編集／議会広報部会
〒391-8501
長野県茅野市塚原二丁目6番1号
☎ 0266-72-2101
FAX 0266-73-7936
<https://www.city.chino.lg.jp/>

WEBで検索 茅野市議会 検索

平成30年度 茅野市の決算状況

平成30年度茅野市一般会計決算

【歳入決算額】	【歳出決算額】	【実質収支額】
251億	242億	7億
4,114万円	9,064万円	7,199万円

〔前年度に比べて、18億653万円、7.74%の増〕

〔前年度に比べて、19億5,431万円、8.75%の増〕

〔黒字決算〕

目次	
委員会の審査・本会議討論	29
陳情議決結果	34
議決結果・賛否一覧	35
一般質問通告一覧	36
会派と議連の紹介	38
第2回臨時議会	39
編集室より	39

令和元年9月 定例会のあらまし

茅野市議会9月定例会は、8月28日(水)から9月24日(火)までの会期で開催されました。補正予算や条例など21議案が審議され、いずれも原案のとおり認定、可決、同意されました。また、陳情6件が審議され、3件が採択、2件が不採択、1件が一部採択となり、意見書案4件が可決され、国などに送付することになりました。



予算決算委員会

・諏訪東京理科大学関連事業費として2455万8千円補正増。

主な補正内容（歳出）

この議案は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億2098万3千円を追加し、歳入歳出それぞれ257億3347万4千円とするもの。

議案第20号
令和元年度茅野市一般会計
補正予算（第2号）に
ついて



予算決算委員会
委員長 樋口 敏之

委員会における主な
議案の審査

・地域医療介護総合確保基金事業費で5179万5千円の補正増など。

議案第22号
平成30年度茅野市一般会計
歳入歳出決算の
認定について



この議案は、平成30年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定を求めらるもの。

平成30年度の歳入決算額は、251億4114万4616円。
歳出決算額は、242億9064万821円で、歳入歳出の差し引き残額は、8億5050万3795円、実質収支額では、7億7199万8142円の黒字。

【討論】

●反対意見

「収入では市民税で給与所得者の税収が増え、法人税も大きな所の収入が増えた。そこから外れた非正規等の方は、国民健康保険税に加入している方が多いと思う。そうした中で国保は県に統一化され、10%余の保険料の値上げがされ負担が増えた。繰入れを求めたが、法的に出来ないと言う事だ。また、後期高齢者、元扶養者の定年期の補助をしていたのが無くなり繰入

れを求めたが、してもらえなかった。財政的に厳しいと言う事も言われましたが、開けてみれば、7億余の黒字。これは出来たのではないかと思う。苦しい人の所にもう少し手を厚く差し伸べることも出来たのではないかと思ひ、そうした所の検討をこの先しっかりと、市民の生活を支える為に税金を余すところなく使って頂く事を求めて、認定には反対。」

●賛成意見

「議会で認定した予算を的確に執行していたと判断し、この決算の認定は妥当であると判断する。なお、この審査でいろいろ意見、要望が出されている。次年度予算編成に当たり再度検討をいただく事をお願いし、賛成。」

議案第23号
平成30年度茅野市国民健康
保険特別会計歳入歳出決算
の認定について



この議案は、平成30年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。

平成30年度の歳入決算額は、56億2546万3796円。

歳出決算額は、54億2086万9641円で歳入歳出差引残額は、

2億459万4155円となり、翌年度へ繰越。

【討論】

●反対意見

「国保の中で、約1割は、お金に直すと1万円の値上げで、その高増に到底賛成とは言えない。全国知事会、市長会、町村会でも繰り返し、国保の負担額の増額を求めていると言う現実もある。地方創生で人口増の事を言いながら相反している。行政は、一般会計からの繰入れを、税の公平性というが、逆に同じ市民に保険の大幅な差があると事自体に矛盾があると考え反対。」

●賛成意見

「30年度から国保税が上がったが、これは国の定めによって実施をしてきたと言う事だ。今後、長野県でもロードマップを作成したり色々検討に入っている。情報を集めて取入れてほしい。30年度は国の定めによって実施をされてきていると言う事で賛成。」

議案第24号
平成30年度茅野市後期高齢
者医療特別会計歳入歳出
決算の認定について



この議案は、平成30年度茅野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。

平成30年度の歳入決算額は、7億5960万3126円。

歳出決算額は、7億2815万2665円で、歳入歳出差引残額は、3145万461円となり、翌年度へ繰越。

【討論】

●反対意見

「今年度から、現役世代に扶養者となっていた方の家族の方の、後期高齢者医療保険の保険料の国がやっていた補助が無くなりました。困っている、所得が無い、苦しい人にまた負担を押し付けた結果になっている。市としては規格どおりやるのだろうが、そこに手を差し伸べる事は必要だ。それが出来ていないので、反対。」

●賛成意見

「茅野市としては国の法令遵守に基づいて、審議すべき事だと思ふ。予算を立てる上でも正しく組まれて、適切に行われてきていることから賛成。」

総務環境委員会

委員長 伊藤 玲子

議案第14号
茅野市個人情報保護条例の
一部を改正する条例
について



この議案は、未成年者又は成年被後見人に係る開示しないことができる自己情報に関する規定を整備するためのもの。

議案第15号
茅野市一般職の職員の給与
に関する条例等の一部を
改正する条例について



この議案は、成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の公布に伴う地方公務員法の改正に伴い、成年被後見人等に係る欠格条項を削除するためのもの。

問

「条例第12条一般の退職手当は次の各号のいずれかに該当するものは支給しないと定めのあるところは、法律改正に伴うものなのか。」

答 「今回の法律改正によるものではなく、前回の一部改正をした際に削除漏れになっていたという事で今回併せて削除させていただいた。」

議案第16号

茅野市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、印鑑登録証明書に旧氏併記の記載を可能とするためのもの。

議案第17号

茅野市生活環境保全条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、太陽光発電設備の設置及び管理に関して、災害の防止、生活環境及び自然環境の保全等に必要基準及び手続を定めるためのもの。

問

「業者と住民と協定を結ぶことについては、この条例と景観条例とガイドラインの3つの条例等で規制があるので、この条例に書き込まなくてもよいという解釈で良いか。」

答 「協定については、民間と民間の話になるので、条例で規定して義務化するのではなく、それぞれがこれからの運営を担保するために結ぶことは問題ない、むしろやって頂きたい。」

問 「議事録等は他のもので補充されているということではないか。」

答 「議事録、説明会については、届出をする時に、その内容についても双方、説明した側、説明を受けた側、それぞれが内容を確認したものを出して頂く形式をとりたい。その中で業者、住民とのやり取りについて市で確認していきたい。」

問 「遠い将来を見越した上で、例えば風力発電、小水力発電、温泉の地熱を使った発電施設といった事を視野に入れると、個別の条例案を作らずに、はたして生活環境保全条例のひとつくりで上手くできるのか。」

答 「今後については、小水力発電、風力発電等々問題が顕著化してきた際は、生環条例に入れた方がいいのか、個別の対応をしていくのかは、その条例化する時点で検討していきたい。」

陳情5

日本政府に対して、国連の

「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書

不採択の意見

「沖縄県民がそんなに思っていないことに対して、私たちが言うのもいかがと思う。」

「陳情書が上がってきたがきちつとした足がかりとなる明確な根拠が見当たらない事もある、また判断の一つの材料でもある茅野市民にとって公益性がないと判断する。」

「議会として意見書を上げる権利はあるが、茅野市民になんら影響がない。議会として機関決定に資するものがない。」

「沖縄では議会でも一度も議論もされていない中で地方議会が議論する余地があるかと考えた時に全く意味のない事であろうと思う。茅野市にとって公益性がないものと言っている。」

不採択

陳情6

米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情

不採択の意見

「茅野市の公益性にない。」

「今までの沖縄の3回の知事選挙等で出てきている意志は、辺野古に基地は作らないということと宜野湾の普天間飛行場を閉鎖するという事なので、それが沖縄の大多数の意見だと思う、それに対し推進しろということは沿わない事なので沖縄の総意に合っていないものだと思う。」

「辺野古移設に関しては国の専権事項であり、地方議会がものを申すべきものではない。」

不採択

陳情10

日米地位協定の抜本的見直しを求める陳情

採択の意見

「日米安保条約で守られているという中で、問題にしているものなのかと考える所があるが、全国知事会がこういう結論を出しているので、採択。」

採択



「茅野市もオスプレイの訓練空域に一部入っているということ、やはり事件事故が起こった時に地位協定の問題については、抜本的な見直しが必要と考え採択。」

経済建設委員会

委員長 矢島 正恒

議案第12号
市道路線の認定について
(米沢北大塩地籍)



この議案は、道路法第8条第2項の規定により市道路線を認定するもの。場所は、米沢北大塩地籍宅地開発に伴う市道路線の認定。

問 「認定道路の幅員について16メートルの部分の幅員と考える考え方は。」

答 「行き止まりなので、転回部分を作る為16メートルになる。」



市道路線認定現地視察
(米沢北大塩地籍)

議案第19号
茅野市水道事業給水条例等の一部を改正する条例について



この議案は、水道法及び水道法施行令の一部改正、並びに元号を改める政令の施行に伴い、関係規定を整備するもの。

問 「条例改正に伴う、指定業者にどのような影響があるか。」

答 「対象事業者が113事業者あり、登録から5年で更新をすると言う事で、初年度の更新対象事業者が31事業者有る点が懸念される。」

福祉教育委員会

委員長 小尾 一郎

議案第18号
茅野市子どもための教育・保育給付に関する利用者負担額を定める条例等の一部を改正する条例について



この議案は、子ども・子育て支援法等の一部改正に伴い、幼児教育・保育の無償化等に関する規定を整備するためのもの。

問 「保育料を滞納している保護者への来年度以降の対応は。」

答 「無償化によって今までの滞納額が無くなることはないのので、引き続き滞納している保護者からは、過年度を含め徴収を続けていく。」

問 「茅野市に認可外保育所はどのくらいあるか。」

答 「市内には3箇所、立科町に1箇所あり、茅野市民が利用するということであればこの4箇所といえる。」

陳情7
国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める陳情書

採択の意見

「今のこのような状況からみて、この表題はもつともだと思ひ採択。」
「小さなクラスの方が、目が届くというところがあるので、35人学級というのは推進していいのではと思ひ採択。」



陳情8
義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情書

採択の意見

「教育は本当に大切なので、国できちんとやっていただきたいと思うので採択。」



陳情9
私立高校に対する公費助成を願う陳情書

一部採択の意見

「保護者へ直接補助というのがどうしても引つかかるので、保護者へ直接補助を行うという2項を除いてなら認められるので、一部採択。」





「国・県の関係者に対して意見書をあげることを求める1項は採択するとして、2項の保護者に現金を渡すような補助は必要ないと思うので、一部採択。」

採択の意見

「経済的に恵まれているから私立へ行くだけではない現状が今実際にある。私立の高校への保護者の経済的負担を軽くするということはあってもいいと思う。今現在の教育・学校の在り方も変わってきていることもあり、私立の公費助成も必要だと思いため採択。」
 「長野県の教育の現状では、公教育の支えているのは私立も大きなウエイトを占めているのは明らかなので、採択。」

本会議における討論

議案第22号

平成30年度茅野市一般会計
歳入歳出決算の認定について



● 反対討論

「予算で求めた国保会計への繰り入れは実現していない。国保は、保険料負担をする力が弱く、医療の必要性の高い市民が多い。支援が必要だがなされていない。今年度から、マイナンバーカードを使ってコンビニでの証明書発行が可能になった。カード発行は1割ちよつとで、9割近い方は恩恵から外されている。公平性と言いつながら、ダブルスタンダードとしか言えない。7億円の実質黒字は、市民生活を支えるために全て使うべきだ。以上のことから反対。」

● 賛成討論

「平成30年度は茅野市にとって市政60周年、または、第5次茅野市総合計画のスタートと大きな節目の年だった。その中で、60周年の各種イベントの開催、また北山保育園・小泉保育園の大規模改修、

幹線道路の整備事業、運動公園施設の改修など、市民の生活を支える施策が適正に実施されたと考える。また、マイナンバーもコンビニエンスストアで今後利用者が増えることも見込まれることから、基金を取り崩すことなく収支の均衡のとれた身の丈に合った予算に基づき決算であったと考えるため賛成。」

議案第23号

平成30年度茅野市国民健康
保険特別会計歳入歳出決算
の認定について



● 反対討論

「国保は社会保険とは違い、均等割りなど国保が持っている構造的なところによる負担額の高さの問題がある。市民への調査の中で、一番の困りごとは何かとの問いに、多くは国保税、介護保険料であった。住民の声を形にすることは、国がしないのなら地方自治体が一般会計から国保会計に繰り入れることだ。住民の声を聴く代表の一人としてこれらを勘案してこの決算に反対。」

● 賛成討論

「保険者が県に移行した最初の年

であった。また国保税の増税があったが、それを一般会計から支出するとなると、税の公平さに欠けるおそれがある。県でもロードマップの作成を行うなど健全な国民健康保険の運営を図るため検討しているという事である。現制度の中では適正な執行がされたと認められるため、認定に賛成。」



議案第24号

平成30年度茅野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について



● 反対討論

「後期高齢者医療保険は75歳以上の高齢者個人が加入する医療保険だが、保険料は被保険者の所得によって決められる仕組みになっている。対象になる被保険者は平成29年度までは軽減特例制があり、保険料は軽減されていたが、国が平成30年度からはこの軽減分を廃止したことに伴い、長野県後期高齢者医療保険の掛金も引き上げられた。これは低所得者に対する保険料値上げであり、到底認めるわけにはいかない。福祉を切り捨てつつけている国の施策に対して地方自治体は住民の福祉向上のために今ふんばるべきだと考え反対。」

● 賛成討論

「所得のない苦しい人に、また負担を押し付けているという様な反対討論があったが、平等・公平性を重視し市民に対して均一の立場で予算が適正に生まれ、適切に行われていることが判断できる。国の法令に基づいて遵守し審議すべき内容であると考えため賛成。」

令和元年9月定例会 陳情 議決結果

番号	表題	趣旨	提出者	採決結果	
				委員会	本会議
陳情5	日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書	国に対し、「沖縄の人々は先住民族」という国連各委員会の誤った認識をただし、国連の自由権規約委員会の勧告を撤回させるよう求めるものと、国際社会に誤った認識が広まらないように正しい沖縄の情報を多言語で発信することを求めるもの。	仲村 覚	不採択	不採択
陳情6	米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情	宜野湾市民が戦後74年悩まされてきた米軍普天間飛行場からの基地被害から解放されるため名護市辺野古地区キャンプ・シュワブへの移転・統合を推進することを求めるもの。	宜野湾市民の安全な生活を守る会	不採択	不採択
陳情7	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める陳情書	すべての子どもに行き届いた教育をするため、国に対し、国の責任による35人学級の計画的推進と教育予算の増額を求めるもの。	長野県教職員組合諏訪支部	採 択	採 択
陳情8	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情書	令和2年度予算編成にあたり、国に対し、教育の機会均等と維持向上のため義務教育費国庫負担制度を堅持・拡充し、また、国の負担率を2分の1に復元することを求めるもの。	長野県教職員組合諏訪支部	採 択	採 択
陳情9	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書	平成22年度に「就学支援金」制度が改正され、各家庭の教育費負担は軽減されてきているが、私学に通学する場合、公立に比べ、保護者の学費負担はまだまだ重い。そのため、公費助成を求めるもの。①国・県に対し、就学支援金制度の拡充及び私学助成の増額を求める。②私立高校に通う生徒の保護者負担を軽減するため、保護者へ直接補助を求める。	中信地区私学助成推進協議会	一 部 採 択	一 部 採 択
陳情10	日米地位協定の抜本的見直しを求める陳情	国に対し、米軍基地から派出する様々な事件、事故などから国民の生命、財産、人権を守るため、日米地位協定の抜本改定について取り組むことを求めるもの。	毛利 正道	採 択	採 択

9月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧

付託委員会 ○…賛成 ●…反対 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算
※議長は採決には加わりません。

番 号	件 名	付託 委員会	議決 結果	両 角 実 晃	木 村 か ほ り	吉 田 基 之	竹 内 巧	伊 藤 正 博	机 博 文	東 城 源	木 村 明 美	小 尾 一 郎	矢 島 正 恒	松 山 孝 志	長 田 近 夫	伊 藤 正 陽	伊 藤 玲 子	樋 口 敏 之	望 月 克 治	伊 藤 勝	
市長 提出 議案	13 茅野市教育委員会委員任命の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12 市道路線の認定について(米沢北大塩地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14 茅野市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15 茅野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16 茅野市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17 茅野市生活環境保全条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18 茅野市子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額を定める条例等の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19 茅野市水道事業給水条例等の一部を改正する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20 令和元年度茅野市一般会計補正予算(第2号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21 令和元年度茅野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22 平成30年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●
	23 平成30年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
	24 平成30年度茅野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
	25 平成30年度茅野市国民健康保険診療所特別会計決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	26 平成30年度茅野市水道事業決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	27 平成30年度茅野市下水道事業決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	28 平成30年度茅野市米沢鋳物師屋財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	29 平成30年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30 平成30年度茅野市泉野大日影財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
31 茅野市教育長任命の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮問	1 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告	7 債権放棄の報告について																				
	8 平成30年度健全化判断比率及び資金不足比率について																				
	9 株式会社ベルビアの経営状況について																				
陳情	5 日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書	総	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	6 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情	総	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	7 国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める陳情書	福	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情書	福	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書	福	一部採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10 日米地位協定の抜本的見直しを求める陳情	総	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員 提出 議案	13 意見書案の提出について(日米地位協定の抜本的見直しを求める)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14 意見書案の提出について(国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15 意見書案の提出について(義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16 意見書案の提出について(私立高校への公費助成に関する)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議決日は、9月24日の議会最終日(但し、議案第13号、諮問1号は、8月28日の開会日に即決)

茅野市の課題を問う!

茅野市ホームページから一般質問の録画映像がご覧いただけます。また、同ホームページの『会議録検索システム』より会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

9月定例会一般質問通告一覧

	件名	要旨
矢島正恒	1 農業振興策について	(1) 農業の多様な担い手への支援と今後について (2) 農産物の特産品開発とブランド化について
	2 災害時の相互応援協定及び避難所の開設について	(1) 相互応援協定締結自治体との連携及び派遣職員等のスキルアップのための研修等について (2) 災害時の地区内緊急避難所の確保について
伊藤玲子	3 高血圧対策について	(1) ワースト1位になった原因について (2) 高血圧対策の現状について (3) 高血圧の撲滅を目指す取組について
	4 プラスチックごみ問題について	(1) プラスチックごみが市の環境に与える影響について (2) プラスチックごみの処理の現状と今後の展開について (3) シングルユースプラスチックを極力使わない事について (4) 公共施設等におけるプラスチック容器の使用について (5) 「信州プラスチックスマート運動」への取組について
望月克治	5 幼児教育・保育の無償化について	(1) こども全員が無償化となりますか (2) 無償化が始まるに当たり、懸念されることはありますか (3) 認可外保育施設は無償化の対象になりますか (4) 認可外の施設の安全はどのようにはかられますか
	6 茅野市プレミアム付商品券について	(1) 茅野市プレミアム付商品券について (2) 対象者への周知について (3) 申請の状況について (4) 市民からの反応について
両角実晃	7 茅野市の森林整備について	(1) 茅野市の森林整備の状況について (2) 新たにスタートした森林経営管理制度への取組について (3) 森林税の活用について (4) ライフラインにおける森林整備の重要性について
竹内巧	8 課題解決に向けた各部署横断的な連携態勢について	(1) 連携すべき課題が生じた時の対応について (2) 笹原保育園の存続について議論した時の連携について (3) 公共交通の移動手段に携わる部署の連携態勢について (4) 連携体制を機能させる際の課題について (5) 連携態勢を有効に機能させるための取組について
伊藤正博	9 上川橋完成に伴う木落し周辺の都市整備計画について	(1) 木落し周辺の今後の都市整備計画について (2) 木落し周辺の商店街の活性化について (3) 上川橋からの県道岡谷茅野線の道路整備について
	10 商業の活性化への取組について	(1) 「キャッシュレス・消費者還元事業」への取組について (2) 地域通貨について (3) 茅野シールとの連携について (4) 商業活性化への取組について
吉田基之	11 農業政策について	(1) 市長の農業に対するビジョンについて (2) 遊休農地の活用について (3) 担い手・新規就農者の受入態勢について (4) 地産地消への取組について
	12 諏訪市四賀ソーラー事業(仮称)について	(1) 準備書について (2) 指定地域住民への対応について

	件名	要旨
伊藤正陽	13 茅野市の公共施設使用料・利用料について	(1) 公共施設の役割・目的と使用料等の考え方について (2) 温泉施設などの市民と市民以外の使用者の割合について (3) 「市民以外の利用者も同一料金」とすることについて (4) 消費税10%増税に伴う使用料等の改定はすべきではないとの考え方について
	14 市営テニスコートの使用と使用料について	(1) 市営運動施設の役割について (2) テニスコートの利用状況について (3) テニスコートの利用者減をどう考えるか (4) 通年券復活について (5) 使用料設定の考え方について (6) 使用料改定の考え方について (7) 花蔭公園のテニスコート利便性向上について
伊藤勝	15 ゴミのポイ捨て等について	(1) ゴミのポイ捨て等の行為に対して、市はどの様に把握し対処しているか (2) 不法投棄に対しての対処は (3) 条例策定の考えは
	16 鳥獣被害対策について	(1) 鹿防護柵の現状と今後の考えは (2) 捕獲に対する買い上げ額の値上げの考えは (3) 鳥獣被害対策実施隊の推移と今後の考えは
小尾一郎	17 高血圧と市の医療政策について	(1) 高血圧に対する市の認識について (2) 医療に対する市の認識について (3) 市の医療政策について
木村かほり	18 観光地のバリアフリー化について	(1) 観光施設のバリアフリー化について (2) バリアフリー研修への取組について (3) 観光施設を造る際の、市民や民間の声を反映することについて (4) ユニバーサルツーリズムへの取組について
	19 子育て支援事業の現状と周知について	(1) サポートルームの現状について (2) 市民への子育て支援情報の届け方について (3) 市民等との連携について
机博文	20 国際スケートセンターの維持と今後について	(1) 施設の老朽化への対応について (2) 施設の備品整備について (3) 2027年開催の冬季国体ハイスピードスケートを誘致することについて (4) 施設利用者を増やすことについて (5) NAO ice OVALの知名度向上に向けて
木村明美	21 茅野市のこれからの学校教育について	(1) 学校や教師が担う業務の明確化と適正化への取組について (2) 新学習指導要領の茅野市の取組について (3) 学校業務改善検討委員会の取組について
	22 中学校の部活動について	(1) 部活動の現状について (2) 少子化で生徒が減少する中での部活動のあり方について (3) 茅野市が進める部活動の方向性について
東城源	23 公共交通について	(1) 平成28年10月の再編後の効果について (2) 路線バス運行事業補助金について (3) 6月に実施された「路線バス100円乗車キャンペーン」の結果について (4) 今後の取組について
松山孝志	24 福祉推進委員の役割と充実に向けてについて	(1) 福祉推進委員がつけられた経緯について (2) 福祉推進委員活動の実態について (3) 所期の目的に向けての取組について
樋口敏之	25 市の観光施策の現状と今後の展開について	(1) 現状分析を行政はどの様に考えるか (2) 市の考える観光のあるべき姿と今後の展開はどうあるべきか

会派の紹介

会派とは、同じ理念や主張を共有する議員の集まりです。茅野市議会では、2人以上により結成されています。

しんぷう 「新風ちの」

代表者 樋口敏之
所属議員 両角実晃、机 博文、東城 源、矢島正恒、
長田近夫、樋口敏之
結成年月日 令和元年9月24日



私たちは会派「新風ちの」を結成しました。会派の目的は、地方自治法が定める市議会の役割と責務を十分に踏まえ、基本的な考えが一致している議員同士が、市民の方々の身近な要望や、市の課題・取組・施策について、積極的に調査・研究を重ねるとともに、さまざまな意見・考え方に対し議論を重ね、政策提言を目指します。併せて議会の活性化、また茅野市の未来を考えて行く政策集団として、活動を展開して参ります。

議員連盟の紹介

議員連盟とは、議員が同じ目的をもち結成する会の総称で、略して「議連」ともいいます。

「茅野市議会森林・林業・林産業活性化促進議員連盟」

代表者 野沢明夫
所属議員 全議員
結成年月日 平成13年1月1日

この議員連盟は、「林業政策の進展を期し、その政策の推進を図ること」を目的として平成13年に結成されました。結成以来、改選により議員が入れ替わっても、議員定数18名全員で会を構成しています。申し合わせにより、会長には議長、副会長には副議長があたっています。

茅野市の議員連盟は、毎年行われる長野県連絡会議の総会・研修会に参加をし、研鑽を深めています。

「交通弱者の移動手段を考える議員連盟」

会長 竹内 巧
所属議員 両角実晃、木村かほり、吉田基之、竹内 巧、伊藤正博、机 博文、東城 源、
木村明美、松山孝志、長田近夫、伊藤正陽、伊藤玲子、伊藤 勝、野沢明夫
結成年月日 令和元年7月23日

誰かの力を借りなければ、買い物にも病院にも出かけられない高齢者の方々。

「運転免許証を返納したいけど、車に乗れなくなったら何処にも行けなくなってしまおう。」とためらっているの方々。送迎してもらわなければ遊びに出ることも、通学することも難しい子供達。

「行きたいところは数々あれど術はなし。」と、途方にくれる「あずさ」で訪れた観光客の皆さん。こうした状況を何とかしたい！という思いを抱いた議員14名が集い、議員連盟を結成しました。モノとカネの動きが経済のバロメーターであるように、活発な人の動きは元気な地域のバロメーターです。「いつまでも便利に使える移動手段」を実現することで、もっともっと活力のある茅野市を目指します。14名が持つ斬新な発想と行動力、行政をはじめ関係機関の皆様との連携により、市民の皆様のお考えを形に出来るよう取り組んで参ります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

茅野市議会第2回臨時会開催（7月16日）

柿澤圭一氏が副市長及び固定資産評価員に選任されました。

議案第10号「茅野市副市長選任の同意を求めることについて」、議案第11号「茅野市固定資産評価員選任の同意を求めることについて」の2議案が審議されました。これは、樋口尚宏副市長が7月30日をもって任期満了となるため、新たに、柿澤圭一氏を副市長及び固定資産評価員に選任し、議会の同意を求めるものです。これら2議案については、全会一致で同意されました。柿澤圭一氏の任期は、7月31日から4年間です。

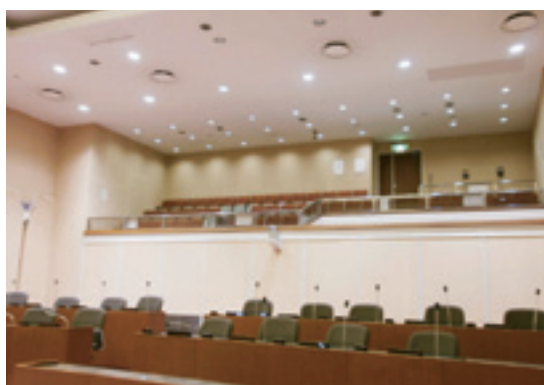


傍聴におでかけください！【議会棟3階】

市議会の定例会と臨時会の本会議及び各常任委員会は誰でも傍聴ができます。ぜひ皆さんも傍聴におでかけください。予約の必要はありません。本会議の傍聴席は、一般席と報道関係者席に分かれており、一般席は身障者用スペースを含め48席あります。

本会議の傍聴を希望される方は、当日、傍聴席入口に備え付けの傍聴受付証に必要事項をご記入の上、傍聴席へお入りください。事務局への連絡はおりません。なお、委員会の傍聴をご希望の方は、事前に議会事務局までご連絡ください。

定例会の日程は、決まり次第茅野市議会のホームページとLCV11チャンネル(ビーナチャンネル)の文字放送でお知らせします。



WEBで検索

茅野市議会

検索



議会広報部会
副部長
両角 実晃

せて参ります。
御協力の程、宜しく
お願い申し上げます。

茅野市議会としましては、議会だよりの他、茅野市議会ホームページでの紹介、市議トークなどの開催などにおいて、市民の皆様方のご意見をお聞きし、市民と共に進めさせて頂いております。今後も市民の皆様方の多くの意見を頂き茅野市政に反映させて参ります。

茅野市議会は決算議会とも言われる9月定例会において平成30年度決算をはじめ幼児教育、保育の無償化等に関する規定の整備による条例等の一部を改正する条例についてなど多くの議案、陳情を採決いたしました。

和元年が始まりました。10月からは消費税率が8%から10%に増税され、新しい税制の中で市民の皆様方には戸惑い不安を感じながら生活されている事だと察します。

編集室「より」

今年も残すところ一ヶ月余りとなりました。いろいろな出来事があった一年だったと思います。4月には統一地方選挙が行われ、茅野市では今井敦新市長の誕生、茅野市議会議員も18名のうち8名が新人当選、フレッシュなメンバーでスタートしました。5月には平成から新年号の「令和」に変わり令和元年が始まりました。10月からは消費税率が8%から10%に増税され、新しい税制の中で市民の皆様方には戸惑い不安を感じながら生活されている事だと察します。